

2019/1/8 06:00 神戸新聞NEXT

組み体操事故3割減少 18年度、兵庫県内公立小中



組み体操の練習に取り組む小学生＝神戸市内

拡大

| 種目 | 小学校 | 中学校 |
|-------|--------|---------|
| ピラミッド | 21(0) | 33(1) |
| タワー | 19(1) | 24(2) |
| 補助倒立 | 35(0) | 3(0) |
| 電柱 | 3(0) | 10(3) |
| サボテン | 33(3) | 6(0) |
| 飛行機 | 2(0) | 5(1) |
| 人間起こし | 6(0) | 2(0) |
| その他 | 50(1) | 33(4) |
| 計 | 169(5) | 116(11) |

神戸新聞NEXT

拡大

兵庫県教育委員会は7日、神戸を除く県内の公立小中学校で、2018年度に実施された運動会・体育大会（練習を含む）の組み体操で、計285件（うち重傷16件）の事故があったと発表した。一方、神戸市教育委員会によると、同市立小中学校の事故は81件（同30件）だった。合わせると、県内では17年度から件数は3割以上減り、重傷も6割程度になった。

大阪経済大の西山豊教授（数学）の調査では、神戸市分を含む17年度の兵庫県の組み体操事故は3年連続で全国最多に上っている。

重傷事故は骨折やねんざなどで、市町別では伊丹市＝3件▽姫路、加古川、西宮、川西市＝2件▽尼崎、宍粟、丹波、たつの市、多可町＝1件だった。種目別では電柱やサボテンでの骨折が目立ち、ピラミッドは1件、タワーも3件あった。

安全のため日本スポーツ振興センターは、タワーは小中とも3段以内、ピラミッドは小学校3段、中学校で4段以内という基準を示すが、県教委によると、タワーは小中とも5段、ピラミッドは小学校で7段、中学校で9段を実施している学校があるという。担当者は「大型の組み体操にこだわる学校に、安全指導を徹底する」としている。

神戸市教委によると、市立小中の事故件数は小学校54件（前年度77件）中学校27件（同40件）。うち、重傷事故は小学校22件（同27件）、中学校8件（同11件）。完成後に技を崩す際にけがが多かったという。（井上 駿）